

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		クオリティ・オブ・ライフ小美玉支援教室				公表日	令和7年4月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	現状あるスペースを区切ったりして使用して
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		67%	33%		障がいの特性が様々な時は、不十分に感じる事が少しはあった。 足りているとは思えない 紙面上は大丈夫だが、体感的にはもう少し広さがほしい	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		67%	33%		利用者の特性や活動プログラムによって、室内のしきりなど工夫したが不十分である。 段差、トイレが狭い	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		67%	33%		トイレ・流しなど使い分けができるよう衛生面に配慮したい 導線が分かりやすいと良い	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		67%	33%	どちらも思えないが、仕切りを使用したり、	一部難しい状況	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	50%	50%		一定の日時を決めて行うと思う	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	83%	17%			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	50%	50%		月1回の会議はあるが、この場では発言のない職員もおり、業務改善はない どちらも思えない	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	50%	50%		分からない	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	50%	50%		動画視聴等の一部の研修はあるが、各自で時間を見つけて 課題解決に関係ない内容	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	67%	33%		適切な公表か判断できない	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	83%	17%		ニーズを反映している活動もある 利用者ニーズがガイドラインすべてをわけではない	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	83%	17%		意見を求めたり、検討したりする機会はある どちらも思えない	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		具体的には当日、活動前まで分からないこともある（職員間個人で共有）	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%		基本、評価活動→改善のサイクルがとれない	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	83%	17%		その為の評価→改善をしようと個人的に資料を作成したが、活用されることはなかった。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	67%	33%			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	83%	17%		曜日固定ではなくなった どちらも思えない	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	障がいの特性に大きな個人差があり、全員での集団活動に困難を感じる
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	今日の予定確認はほぼ実施している 足りないと感じている
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	67%	33%	就業時間内で送迎するのがいっばいで、記録を付けると勤務時間外となる時間がとれる時は行ってと思う 気づいた点は話すが、全日ではない 足りないと感じている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	保護者向けのケア記録だけでいっばいである
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	83%	17%	相談員業務との関係でなら、自分にはわからない
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%	0%	地域交流が難しい 利用頻度の個人差が大きく計画性は困難
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	83%	17%	自己選択の前に、状況把握や意思表示が困難な利用や場面もある
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	83%	17%	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	50%	50%	学校との連携を深めたいが、機会設定の要望に応じてもらえない事が多い
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	83%	17%	当方からその都度お願いして各校に協力を依頼している
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	50%	50%	個人による それほど多くはない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	67%	33%	分からない
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	33%	67%	心当たりはない 分からない
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	33%	67%	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	50%	50%	参加していない 分からない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	可能な限り行っている
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	50%	50%	個別面談の助言ぐらい どちらともいえない
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	67%	33%	自分には分からない
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	83%	17%	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	67%	33%		ほとんどない 今は出来ていない
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	67%	33%		周知対応はあるが、具体事案はわからない あまりきかない
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83%	17%		シュレッダーがない
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83%	17%		しているつもり
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	50%	50%		開催したことはあるが、成果はない
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%		定期的とはどれくらいかわからない
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	83%	17%		担当職員が実施 予防接種は確認していない
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	83%	17%		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	83%	17%		何について安全計画か不明
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	67%	33%		分からない
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	83%	17%		研修あり
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	83%	17%		